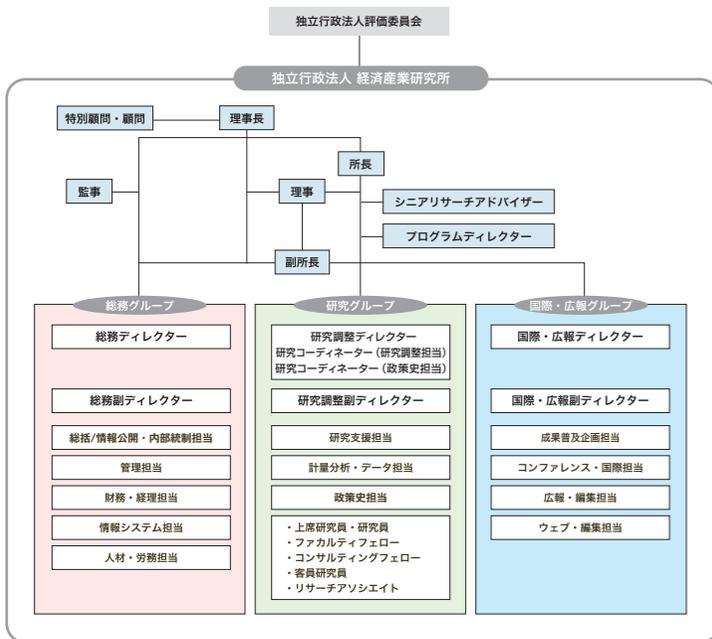


## 研究所概要 (2014年3月末現在)

設立年月日：2001年4月1日

研究員数：73名

主たる財源：運営費交付金（経済産業省より）



## シニアリサーチアドバイザー

根津 利三郎 (株式会社通総研)	吉川 洋 (東京大学)	若杉 隆平 (学習院大学)
---------------------	----------------	------------------

## プログラムディレクター

研究プログラム	担当ディレクター	研究プログラム	担当ディレクター
貿易投資	若杉 隆平 (学習院大学)	国際マクロ	伊藤 隆敏 (東京大学)
地域経済	浜口 伸明 (神戸大学)	技術とイノベーション	長岡 貞男 (一橋大学)
産業・企業生産性向上	深尾 京司 (一橋大学)	新しい産業政策	大橋 弘 (東京大学)
人的資本	鶴 光太郎 (慶應義塾大学)	社会保障・税財政	深尾 光洋 (慶應義塾大学)
政策史・政策評価	武田 晴人 (東京大学)		



# 独立行政法人 経済産業研究所

〒100-8901 東京都千代田区霞が関1丁目3番1号

経済産業省別館11階

Tel: 03-3501-1363 (代表) Fax: 03-3501-8577 (代表)

ホームページ <http://www.rieti.go.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Japan.RIETI>

Eメール: [info@rieti.go.jp](mailto:info@rieti.go.jp)



2014年5月作成

## 独立行政法人 経済産業研究所 (RIETI) の目的

独立行政法人経済産業研究所 (Research Institute of Economy, Trade and Industry/RIETI) は、霞ヶ関という立地条件を生かし、政策担当者・研究者・産業界等の連携によるシナジー効果を最大限に発揮しながら政策研究・提言を行う本格的な政策研究機関として2001年4月に設立されました。

成熟した活力ある日本社会の構築を目指し、従来の枠組みに囚われないグローバルな視点からの理論的・分析的な研究に裏打ちされた政策展開を実現していくために、RIETIではわが国における経済産業政策のあり方についてニーズに見合った研究領域を設け、その領域の下で個別の研究が有機的に関わり合うよう工夫しています。また、効果的・効率的な研究成果の普及・政策提言のために、ウェブサイトや刊行物などの多様なツールを積極的に活用しています。RIETIは今後も活発な政策提言を通じ、政策論争及び政策形成に貢献していきます。

2013年度の日本経済は、円安株高とアベノミクスによって回復基調を迎えました。物価もデフレ脱却が明確になりつつあります。企業業績も回復しており、賃金は下落基調が上昇に転じております。

しかし、日本経済の課題はなお多く存在しています。財政赤字は依然深刻ですし、少子高齢化など多くの構造課題への取り組みは途上です。また、景気回復とともに民間活力も向上していますが、その活性化には組織など経営上の課題を改善していくことが欠かせません。

RIETIは2013年度、経済金融、社会保障、労働問題、エネルギー・環境、通商政策など、多くの分野について200本近い研究論文を発表し、幅広く研究活動を行ってまいりました。また、人的資本や日本経済再生、資源エネルギーなどのシンポジウムやセミナーを開催・共催するなど、その成果も広く提供してまいりました。

同時に、海外研究機関との研究協力や研究分野に絡む経済産業や生活についてのデータベースの整備提供にも注力しています。2013年度については、以前から公開しているデータベースを更新するとともに、新たに中国元および韓国ウォンの産業別名目・実質実効為替レートデータや日本の地域間生産性格差や産業構造を分析するための基礎資料となる都道府県別産業生産性(R-JIP)データベースを公開いたしました。

2014年度も、内外の経済課題をとらえ、引き続きRIETIの使命である経済産業政策の形成に資する研究を遂行するとともに、その成果をタイムリーに提供していく所存です。RIETIに対してこれまで賜りましたご支援、ご鞭撻を引き続きよろしく願いたします。

理事長 中島 厚志

RIETIは、2011年4月から始まった第三期中期目標期間において、日本経済を成長軌道に乗せ、その成長を確固たるものにしていくためのグランドデザインを理論的・実証的に研究することを使命としています。そのために、1) 世界の成長を取り込む視点、2) 新たな成長分野を切り拓く視点、3) 社会の変化に対応し、持続的成長を支える経済社会制度を創る視点、の3つの重点的な視点を常に踏まえて研究を行っています。

1) の視点は、近年、急速な成長を遂げてきたアジアの新興国をはじめとする世界の成長を日本の成長に取り込み、日本の科学技術力を活かした貿易・投資とビジネス展開を促進することの重要性を表しています。また、2) の視点は、わが国の強みと社会状況を活かして、グリーン・イノベーションやライフ・イノベーションに代表されるような新たな成長産業を生み出すため、R&D政策のあり方や生産性向上の理論・実証分析の重要性を表しています。さらに、3) の視点は、わが国の持続的な成長を支えるためには、経済的・社会的インフラについて、高齢化、環境、財政などの制約を乗り越え、社会の変化に対応した安定的な制度を構築することの重要性を表しています。RIETIは、これら3つの視点を常に念頭に置きながら、わが国の今世紀における持続的な発展に向けての研究を、日本の研究者と政策立案者、さらにはアジアや欧米をはじめとする海外の研究者との緊密な連携のもとに総合的に遂行しています。

わが国が、グローバル化と高齢化の進展の中で、東日本大震災の復興とともに新たな発展を目指していくためにも、RIETIは中長期的な視点から、全力を挙げて研究を進めていく所存です。

所長 藤田 昌久

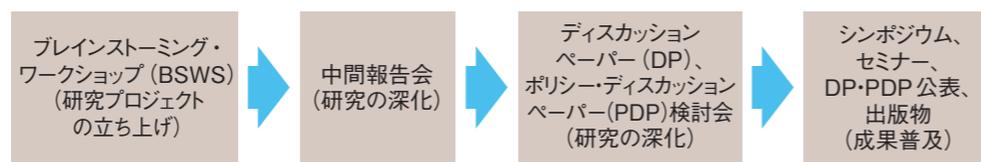
## 独立行政法人 経済産業研究所

## 研究内容



## 研究プロセス

研究の質を高める目的で、国内外の専門家や政策当局者を交えて議論を深め、全ての研究について少なくとも3回はワークショップやシンポジウムなどの「議論の場」を設けています。



## 研究員の分類



## シンポジウム・セミナーの実施

研究成果の普及のために、シンポジウムやセミナーを開催しています。さらに、画像音声の同時配信・オンデマンド配信、議事録や配布資料のウェブ掲載などを通じた即時公開にも努めています。

### ■ 政策シンポジウム

RIETIにおける研究成果の発表とともに、関連する内外の政策実務者、研究者、民間有識者、ジャーナリストを広く招聘してディスカッションを行い、研究成果のさらなる深化を図っています。シンポジウムでの議論はサマリーの形でまとめられ、プレスリリースやRIETIのウェブサイト等を通じて配信されます。

### ■ BBLセミナー

米国の大学や研究機関では、研究者や教授、学生たちの間でBrown Bag Lunch (BBL) Meetingというものがあるのが頻繁に行われています。自分の昼食を茶色の紙袋に入れて集まる事が名前の由来です。RIETI BBLシリーズも昼休みを利用し、国内外の有識者を講師として招き、様々な政策について産官学の垣根を超えてフランクな議論を行う機会を提供しています。

## ウェブサイト <http://www.rieti.go.jp/>

ウェブサイトは日本語、英語、中国語で構成され、RIETIや研究員の活動を幅広く紹介しています。研究成果であるディスカッションペーパーや研究員による政策提言的なコラムの掲載、また、各研究会独自のコンテンツにも力を入れ、個別の政策 이슈を深く掘り下げて発信しています。日本の経済成長と産業構造変化を分析するための基礎資料である「日本産業生産性データベース (Japan Industrial Productivity Database: JIP)」や、東アジアにおける為替相場政策協調と金融当局のサーベイランス機能の向上にも貢献すると期待される「アジア通貨単位 (AMU) と東アジア通貨のAMU乖離指標」の測定結果を公開するなど、他では入手できない貴重なコンテンツを取りそろえています。



## ディスカッションペーパー・ポリシーディスカッションペーパー

ディスカッションペーパー (DP) は、内部のレビュー・プロセスを経て、論文形式でまとめられた研究成果です。高い学術的水準を確保しつつ、政策形成に貢献することを目的としています。

ポリシーディスカッションペーパー (PDP) は、RIETIの研究に関連して作成された論文で、政策を巡る議論にタイムリーに貢献することを目的とした研究成果です。

これらは、ウェブサイトからダウンロードが可能です。



## 出版物

専門分野毎のレフェリー審査をクリアする学問的水準の高い研究成果や、より広い読者層を対象としたタイムリーな政策研究トピックなど、RIETIの出版物のテーマは多岐にわたり、様々な出版社から刊行されています。



- 左から
- ◆ 「経済レジリエンス宣言」  
藤井 聡 編著  
日本評論社 2013年
  - ◆ 「最低賃金改革」  
大竹 文雄、川口 大司、鶴 光太郎 編著  
日本評論社 2013年
  - ◆ 「Internationalization of Japanese Firms」  
Written and edited by WAKASUGI Ryuhei  
Springer 2014

## 広報誌 RIETI Highlight

シンポジウム、セミナーの開催報告、新刊本の書評、フェローによるコラムなど、四半期ごとにRIETIの最新活動状況を紹介する広報誌です。フェローの研究成果である「ディスカッションペーパー」について、主要なポイントや研究の問題意識などを著者インタビューを通じて分かりやすく紹介する「Research Digest」のコーナーも掲載しています。また、毎号、研究成果の中から時宜を得たテーマを取り上げ「特集」としてご紹介しています。



季刊号 (和)



増刊号 (英)